

令和3年度 社会福祉法人花ノ木 事業報告

社会福祉の主たる担い手である社会福祉法人として、自律的に経営基盤の強化を図り、利用者・者の人権を尊重した福祉、医療サービスを提供するとともに、複雑多様化する課題に積極的に対応すべく、令和3年度においても、これまでの経験を踏まえ、未来を見据えた公益法人にふさわしいガバナンスと透明性を備えた事業を次のとおり展開しました。

1 中・長期計画の策定

施設診断、第三者評価及び職員の意識調査等を踏まえ、法人設立40年の成果を礎に所属横断的に職員の力を結集し、京都府内全域との連携を踏まえながら、将来を見据えた中・長期計画を策定しました。

2 入所者の生活環境の改善に資する施設設備の整備充実

中・長期計画に基づき、入所者の生活環境の改善に資するため、プライバシーに配慮し、経年劣化等にも対応した施設設備の機能回復など建造物の長期活用を図る施設整備計画を検討しました。加えて新型コロナウイルスなど感染症に対応できる病床配置を検討しています。

また、移動が可能な「簡易レントゲン装置」や筋力低下予防のための「ワイヤレス筋電計システム」等を導入し、入所者の医療的な処遇改善に努めました。

3 家庭での子育て支援の取組

在宅の重症心身障害児・者や保護者への多様なサービス提供体制（グループホームを含む）を検討するとともに、在宅支援機能の充実を図り、重度心身障害児・者を総合的に支援しました。

4 地域支援の取組

社会福祉法人の役割である地域貢献を果たすため、短期入所の促進を図るとともに、発達障害児の支援については、医療、福祉支援に教育的支援を加えた多様なサービスを展開し、就学後の発達支援を充実させました。

また、地域住民に対するコロナワクチンの接種等に積極的に協力し、地域支援に貢献する社会福祉法人としての存在感を高めました。

5 経営、財政及び人事育成

(1) 経営及び財政の強化を図るため、適正な予算管理と執行管理の徹底を図るとともに、各事業分野における事業の点検・見直しを行い、事務事業の改善を進めました。

また、中・長期計画を推進するための財源確保に取り組みました。

(2) 適正な人事評価を行い、キャリアパス制度の構築、職員の資質向上のための階層別研修等、長期的な視野にたって人材育成に努め、魅力ある職場づくりを図るとともに、必要な人材の確保に努めましたが、今後更なる強化充実が課題となっています。

また、近年の人件費増加に対し、人件費比率の縮小を目指して、将来的に安定した法人運営に資するため給与体系の見直しを行い、がんばった者が報われる給与制度を構築しました。

6 防災対策の充実

頻発する地震や異常気象、火災に備えるため、BCPの適切な見直しを行うとともにいざという時の体制の確保や防災訓練を施設全体で計画的に実施しました。

7 新型コロナウイルス感染対策

職員一人ひとりが自覚をもって新型コロナウイルス等感染症対策を実施し、入所者の命を守る行動に努めました。

また、国の補正予算を積極的に活用し、新型コロナウイルス感染対策に必要な備品を購入するなど、感染症に対応する環境整備に努めました。なお、新型コロナ遺伝子検査装置を導入し、迅速な診断に努めました。